



事業概要

中江産業株式会社は国土のおよそ1/6,000（合計6,458ha）の森林面積を持つ企業として、適切な森林整備を通じ、持続可能な森づくりを行っています。「森を守り、育て、活用する」健全な林業経営を通して、日本の豊かな未来に貢献し、地球温暖化対策と生物多様性の保全に取り組んでいます。

森林吸収系J-クレジット創出の概要

ナカエの森 地球がよろこぶ森林プロジェクト

- 中江産業株式会社は140年間にわたり、植林、間伐、主伐など計画的な施業による堅実で安定した林業経営を継続し、再造林率100%も達成しています。



- 森林クレジットへの取り組みも早期から開始しており、高知県、徳島県、京都府、岐阜県、福井県の1府4県にまたがる「ナカエの森」全所有林をJ-クレジットの対象としています。



非炭素プレミアム価値訴求のポイントや活用事例

- 人間の営みは生態系サービス（供給、調整、生育、文化）の恩恵を受けて成り立っており、地球環境を支える生物多様性や水源涵養等、森林はそれら全てに関わっています。適切に森林を保全することは、人間が生きていくうえでかけがえのない財産を守ることです。
- 雪印メグミルク（株）では、自社工場である「京都工場」及び「京都工場池上製造所」の所在地にある南丹市の森林保全プロジェクトで創出されたJ-クレジットを活用することで生物多様性の保全に貢献しています。
- ある新電力会社では、環境に優しい電気として、森林吸収系のJ-クレジットの環境価値を付加し、幅広いユーザーが間接的に持続可能な森づくりへ貢献できる仕組みを作っています。

その他森林保全等に係る取組について

- 当社は排出者でもあり、GXリーグに参加して、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、積極的な取り組みを行っています。
- 当社は、30by30アライアンスへ参加しており、自然共生サイトへの登録を申請中、生物多様性の保全に取り組んでいます。

